



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社イノベーション 上場取引所 東
コード番号 3970 URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）富田 直人
問合せ先責任者 （役職名）執行役員（経営企画担当） （氏名）笹岡 大志 （TEL）03(5766)3800
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,369	30.0	△261	—	△327	—	△269	—
2025年3月期中間期	2,591	22.8	185	△19.6	181	△22.7	23	△82.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △226百万円（－％） 2025年3月期中間期 22百万円（△82.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△101.72	—
2025年3月期中間期	8.76	8.73

（注）2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失のため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,967	3,756	38.5
2025年3月期	8,321	4,067	40.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,070百万円 2025年3月期 3,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	55.3	390	10.8	340	△0.1	200	196.4	75.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	2,747,700株	2025年3月期	2,727,700株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	77,666株	2025年3月期	81,366株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	2,653,720株	2025年3月期中間期	2,679,949株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは、「『働く』を変える」というミッションのもと、創業以来培ってきた営業・マーケティング・テクノロジーのノウハウを活かし、法人営業の新たなスタイルを提案する事業の拡大に注力しております。

当中間連結会計期間におきましては、中長期的な収益柱の創出を見据えた新規事業の立ち上げ及び開発投資に加え、株式会社シャノンに対する株式公開買付け(TOB)の完了に伴うグループ体制の強化を継続して進めてまいりました。

また、当中間連結会計期間において決議したグループ再編(子会社間の事業譲渡および株式譲渡)については、2025年9月に一部を実施し、残る施策の効力発生日を同年12月に予定しており、これを契機として更なるグループ全体の事業ポートフォリオ最適化とシナジーの発揮、収益基盤の再構築を進めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は3,369,793千円(前年同期比30.0%増)、営業損失は261,833千円(前中間連結会計期間は営業利益185,871千円)、経常損失は327,607千円(前中間連結会計期間は経常利益181,099千円)、親会社株主に帰属する中間純損失は269,936千円(前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純利益23,477千円)となりました。

当中間連結会計期間の報告セグメント別の業績の詳細は、次のとおりであります。

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」におきましては、掲載製品数が3,494製品(前年同期比3.7%減)となり、当中間連結会計期間の来訪者数(延べ人数)は7,204,080人(前年同期比32.6%減)となりました。生成AIの普及により情報収集チャンネルが多様化し、検索経由の流入が減少したことが影響しておりますが、新たな集客施策や広告効率の改善等の効果により資料請求は堅調に推移し、量から質への転換が進展いたしました。また、事業運営効率化の進展や会員ビジネスへのシフトを通じて、収益基盤の安定化を図っております。

以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は1,784,397千円(前年同期比5.9%減)、セグメント利益は583,968千円(前年同期比18.4%減)となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業におきましては、主力製品である「List Finder」に加え、連結対象となった株式会社シャノンの「SHANON MARKETING PLATFORM」等の寄与により、売上高及びセグメント利益が大幅に増加いたしました。一方で、TOBに伴い発生したのれん及び無形固定資産の償却が継続しており、利益面では一定の影響が生じております。

以上の結果、ITソリューション事業の売上高は1,360,897千円(前年同期比583.3%増)、セグメント利益は90,638千円(前年同期比38.9%増)となりました。

(金融プラットフォーム事業)

金融プラットフォーム事業の主力である「IFA」におきましては、業務委託部門の売却に伴い売上高が大きく減少いたしました。一方で、事業運営効率化の効果は当中間期中にはまだ十分に発現しておらず、利益面の改善には至りませんでした。今後は、体制再構築と収益性重視の運営を徹底し、持続的な利益体質への転換を図ってまいります。

以上の結果、金融プラットフォーム事業の売上高は223,899千円(前年同期比54.8%減)、セグメント損失は92,249千円(前年同期はセグメント損失103,159千円)となりました。

(VCファンド事業)

VCファンド事業は、INNOVATION HAYATE V Capital投資事業有限責任組合および2025年5月に新たに組成したINNOVATION V Capital投資事業有限責任組合(現時点では連結対象外)に関わるものであります。当中間連結会計期間におきましては株式の売却は実施しておりませんが、保有株式の時価下落に伴い評価損を計上いたしました。

以上の結果、セグメント損失は110,839千円(前年同期はセグメント損失31,644千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては7,967,991千円となり、前連結会計年度末に比べ353,732千円減少いたしました。これは主に、営業投資有価証券が46,294千円増加し、現金及び預金が155,604千円、受取手形、売掛金及び契約資産161,309千円及びのれんが71,915千円減少したことによるものであります。

負債につきましては4,211,964千円となり、前連結会計年度末に比べ42,510千円減少いたしました。これは主

に、契約負債が268,041千円増加し、未払法人税等が111,171千円及びその他流動負債が68,410千円減少したことによるものであります。また、2025年4月11日付で借入金2,200,000千円の借換えを実施し、短期借入金から長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金へ振替えております。当中間連結会計期間において当該借入金の返済が進んだこと等により、前連結会計年度末の借入金残高と比べ162,912千円減少いたしました。

純資産につきましては3,756,027千円となり、前連結会計年度末に比べ311,222千円減少いたしました。これは主に、資本剰余金が851,376千円増加し、資本金が831,096千円減少、親会社株主に帰属する中間純損失269,936千円を計上及び利益剰余金の配当109,101千円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ155,604千円減少し、3,420,869千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は277,448千円(前年同期は33,349千円の支出)となりました。この主な要因は、税金等調整前中間純損失312,188千円、減価償却費105,930千円、売上債権が161,309千円減少、契約負債が268,041千円増加、賞与引当金が62,981千円増加、のれん償却額71,915千円、顧客関連資産償却額38,000千円、借入手数料55,250千円、支払利息15,333千円及び法人税等の支払額119,290千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果支出した資金は103,801千円(前年同期は46,182千円の支出)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出78,211千円、無形固定資産の取得による支出110,736千円及び事業譲渡による収入19,996千円及び敷金の回収による収入65,032千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は327,277千円(前年同期は221,240千円の支出)となりました。この主な要因は、長期借入による収入2,250,000千円、短期借入金の返済による支出2,204,200千円、長期借入金の返済による支出258,712千円及び配当金の支払による支出109,115千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月12日公表の「2025年3月期 決算短信」における業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,576,474	3,420,869
受取手形、売掛金及び契約資産	920,653	759,344
仕掛品	38,947	31,672
営業投資有価証券	164,705	210,999
前払費用	201,901	240,973
未収還付法人税等	—	109
その他	76,960	33,813
貸倒引当金	△3,721	△3,366
流動資産合計	4,975,920	4,694,416
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	36,984	86,494
工具、器具及び備品(純額)	37,647	62,886
有形固定資産合計	74,632	149,380
無形固定資産		
ソフトウェア	485,824	518,376
ソフトウェア仮勘定	44,854	26,074
顧客関連資産	912,000	873,999
のれん	1,438,299	1,366,384
その他	4,814	4,994
無形固定資産合計	2,885,793	2,789,830
投資その他の資産		
投資有価証券	104,358	101,693
関係会社株式	15,067	15,067
繰延税金資産	70,651	90,147
その他	202,110	135,372
貸倒引当金	△8,010	△8,768
投資その他の資産合計	384,176	333,512
固定資産合計	3,344,601	3,272,723
繰延資産		
社債発行費	1,201	851
繰延資産合計	1,201	851
資産合計	8,321,724	7,967,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,280	240,083
短期借入金	2,200,000	45,800
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	185,440	484,074
未払法人税等	132,968	21,797
未払費用	150,778	148,729
契約負債	440,712	708,753
賞与引当金	56,467	119,356
その他	280,648	212,237
流動負債合計	3,748,294	2,020,832
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	155,267	1,847,921
株式給付引当金	39,471	40,445
繰延税金負債	287,453	275,475
その他	3,987	7,289
固定負債合計	506,179	2,191,131
負債合計	4,254,474	4,211,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,236	410,140
資本剰余金	1,168,246	2,019,623
利益剰余金	1,107,015	727,879
自己株式	△89,775	△85,695
株主資本合計	3,426,723	3,071,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,966	—
為替換算調整勘定	—	△1,177
その他の包括利益累計額	△42,966	△1,177
新株予約権	2,858	2,858
非支配株主持分	680,633	682,398
純資産合計	4,067,249	3,756,027
負債純資産合計	8,321,724	7,967,991

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,591,293	3,369,793
売上原価	1,505,317	1,675,236
売上総利益	1,085,975	1,694,556
販売費及び一般管理費	900,104	1,956,390
営業利益又は営業損失(△)	185,871	△261,833
営業外収益		
受取利息	89	1,818
受取配当金	250	1,153
助成金収入	316	1,800
雑収入	932	2,663
営業外収益合計	1,589	7,435
営業外費用		
支払利息	965	15,333
社債利息	—	67
社債発行費償却	—	350
支払手数料	4,014	55,250
投資事業組合運用損	1,380	2,185
雑損失	0	22
営業外費用合計	6,360	73,209
経常利益又は経常損失(△)	181,099	△327,607
特別利益		
事業譲渡益	—	19,996
特別利益合計	—	19,996
特別損失		
固定資産除却損	867	3,044
固定資産売却損	—	1,304
投資有価証券売却損	—	228
投資有価証券評価損	36,692	—
特別損失合計	37,559	4,577
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	143,539	△312,188
法人税、住民税及び事業税	111,982	6,334
法人税等調整額	9,028	△51,249
中間純利益又は中間純損失(△)	22,528	△267,273
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△949	2,663
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	23,477	△269,936

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	22,528	△267,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	42,966
為替換算調整勘定	—	△2,075
その他の包括利益合計	—	40,890
中間包括利益	22,528	△226,382
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	23,477	△229,436
非支配株主に係る中間包括利益	△949	3,053

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	143,539	△312,188
減価償却費	32,827	105,930
受取利息及び受取配当金	△340	△2,972
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,630	402
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,990	62,981
株式給付引当金の増減額(△は減少)	2,404	973
投資事業組合運用損益(△は益)	1,380	2,185
投資有価証券評価損益(△は益)	36,692	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	228
事業譲渡損益(△は益)	—	△19,996
社債利息	—	67
支払利息	965	15,333
借入手数料	—	55,250
固定資産除却損	867	3,044
固定資産売却損益(△は益)	—	1,304
のれん償却額	—	71,915
顧客関連資産償却額	—	38,000
株式報酬費用	9,297	9,209
売上債権の増減額(△は増加)	38,589	161,309
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,234	4,671
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△59,914	△62,838
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,412	△28,053
契約負債の増減額(△は減少)	30,167	268,041
未払費用の増減額(△は減少)	△9,681	△2,045
前払費用の増減額(△は増加)	△73,936	△25,980
その他	△55,808	63,258
小計	55,045	410,033
利息及び配当金の受取額	340	2,972
利息の支払額	△965	△16,288
法人税等の支払額	△94,816	△119,290
法人税等の還付額	7,046	21
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,349	277,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,239	△78,211
無形固定資産の取得による支出	△33,943	△110,736
関係会社貸付けの回収による収入	7,000	—
事業譲渡による収入	—	19,996
敷金の回収による収入	—	65,032
その他	—	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,182	△103,801

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
長期借入れによる収入	—	2,250,000
短期借入金の返済による支出	—	△2,204,200
長期借入金の返済による支出	△49,998	△258,712
借入手数料の支払額	—	△55,250
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△49,000	—
自己株式の取得による支出	△69,569	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	39,374	—
非支配株主からの払込みによる収入	15,000	—
配当金の支払額	△107,047	△109,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,240	△327,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1,974
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△300,772	△155,604
現金及び現金同等物の期首残高	3,280,294	3,576,474
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,979,521	3,420,869

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間において、譲渡制限付株式報酬としての新株の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ10,140千円増加しております。また、2025年6月25日開催の第25回定時株主総会決議に基づき、2025年8月20日付で減資の効力が発生し、資本金の額841,236千円を減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が410,140千円、資本剰余金が2,019,623千円となっております。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
役員報酬	85,939千円	94,580千円
給与手当	226,987 "	702,290 "
法定福利費	44,378 "	122,259 "
賞与引当金繰入額	2,049 "	53,750 "
株式給付引当金繰入額	6,088 "	5,500 "
貸倒引当金繰入額	9,630 "	402 "

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金	2,979,521千円	3,420,869千円
現金及び現金同等物	2,979,521千円	3,420,869千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オンライン メディア 事業	I T ソリ ュ ー シ ョ ン 事 業	金融プラ ット フ ォ ー ム 事 業	VCファ ン ド 事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,896,678	199,173	494,841	—	2,590,693	600	2,591,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,896,678	199,173	494,841	—	2,590,693	600	2,591,293
セグメント利益又はセグメント損失(△)	715,255	65,275	△103,159	△31,644	645,725	△459,854	185,871

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高600千円は、関連法人からの業務委託料であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△459,854千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	オンライン メディア 事業	I T ソリュー ション事業	金融プラット フォーム事業	VCファンド 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,784,397	1,360,897	223,899	—	3,369,193	600	3,369,793
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,784,397	1,360,897	223,899	—	3,369,193	600	3,369,793
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	583,968	90,638	△92,249	△110,839	471,517	△733,351	△261,833

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高600千円は、関連法人からの業務委託料であります。

(2) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△733,351千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。